

新春到来の気配を感じさせるこの佳き日に、大阪府立北かわち皐が丘高等学校 全日制課程普通科
12期生 230名の皆さんに卒業証書を授与いたしました。
12期生の皆さん、卒業おめでとうございます。心からお祝い申し上げます。

また、3年生の旅立ちを祝福するために、第12回卒業証書授与式を挙行いたしましたところ、コロナ禍にあり、ご列席は控えていただきましたが、大阪府教育委員会、寝屋川市教育委員会をはじめ、多数の方々から、はなむけの言葉を頂戴しました。

この場をお借りして、ご紹介させていただき、併せて厚くお礼申し上げます。

ご列席の保護者の皆様、お子様のご卒業おめでとうございます。

本日ここに、卒業の日を迎えられましたのは、お子様自身の努力の成果であるとともに、今日までお子様を温かく育ててこられた皆様の愛情の賜物であるということは言うまでもありません。心からお祝い申し上げます。併せて、この3年間、本校の教育活動にご理解とご協力を賜りましたことを、本校の教職員を代表いたしまして、お礼申し上げます。

改めて12期生の皆さん、卒業おめでとう。

皆さんが本校で過ごした高校生活は、激動の3年間でしたね。先輩たちに牽引されながら、行事や部活動を通じて、『皐が丘を見た』1年生。自分達が部活動や行事等で後輩達を牽引し、皐が丘での高校生活を謳歌するぞと意気込んだ2年生4月。新型コロナウイルス感染拡大のために、学校はいきなり休校に。学校再開後、教室で学べること、昼食を共にすること等、日常生活を送れることに喜びや有難さを感じました。教職員一同、これまで経験したことがない事態の中、危機感や不安を感じつつ、生徒の皆さんに、感染防止対策を講じるよう日々訴え、中には、「うっせいわ」って感情を顔に現す人もいましたが、君たちは、先輩たちと共に工夫を凝らし、学校行事を成し遂げることができました。クラスTシャツを着こなし、友達の思いを胸に走った全員リレー、日本の秋を見事に表現した文化祭、それらの諸活動を通じて、『皐が丘を知った』2年生。

緊急事態宣言下、始まった第3学年4月。団長・ブロック長の皆さんは早くから意気込み、準備をしてきた体育祭。直前になって延期という判断をしなければなりませんでした。皆さんの心の中には、「またか？」という思いと、「何故できない」、悔しさ・心苦しさをどこにぶつければいいのか判らず、もがいていた人もいましたね。学校行事ができずに1学期が過ぎ、皆さんの進路実現への取組み始まり、図書室や学習室で勉強している人、エントリーシート(自己推薦文)の添削指導を受ける人、度重なる面接指導で自己を見つめ直した人等、皆さんが真剣に取り組んでいる姿に、12期生の逞しさを感じたものです。2学期中間考査直後には、3団分かれて競った体育祭、伝統の『演劇コンクール』を復活させた文化祭。諸行事を通じて、団・クラスを纏めあげ、一人ひとりが充実した行事。まさに、『皐が丘を楽しんだ』3年生を見ることができました。中には羽目を外してしまい、私と直接話をした人も何人かいましたが、定期考査前、校長室の扉をノックし、『この問題判らないので教えてもらってもいいですか』って気さくに入室したのも12期生、学習内容を深めたい、極めたいとの思いの強さ・逞しさを感じました。

そのような皆さんには、共に行事を作り上げる喜びを共に味わい、突然の出来事に悲しみ、一緒に乗り越えた友がいて、見守り支えてくれた御家族や担任の先生・部顧問の先生をはじめ多くの方々の支えがありました。今改めて、皆さんを支え、励ましてくれた方々へ感謝するとともに、今、この思いを忘れないようにしてもらいたいです。

さて、令和の時代を本校で過ごした皆さんは、この4月から「成人」となります。明治時代に制定された民法が改正され、成人年齢が引き下げられます。「契約」等の法律行為が18歳になればできるようになり、これまで以上に、社会の一員として責任ある言動が求められることは既知の話ですね。消費契約や金銭・金融にかかわる知識は、これまでも授業で様々な学びましたが、4月からは、皆さん自身が、様々な消費サービスの中から諸条件を比較・検討し、より良い選択をする。選択したサービスに伴う社会的責任は、契約者として負わなければならない。これまで学校では、「答えがある問いばかり教わってきたよ」という人もいるでしょう。でも、これからは、正解がただ1つでない、正解が固定できない、あなたにとって不正解であっても私にとっては正解、今日の私には不適であっ

ても、明日の自分には最適、そんな課題にも対峙することになるでしょう。今、この時に正解と信じ、判断・行動したことが、実は、数日・数か月後には、また、数年が経って判断を振返ったとき、実は、最適解でなかったと判明することもあるでしょう。これからの人生では、時には立ち止まり、今の自分を振り返り、より最適解に繋がるように、自分の針路を、これまでの経緯を踏まえ、かじ取りをする、そんな大航海の 때가訪れるのです。

自分にとって、家族にとって、仲間にとって、社会にとっての Better of your Life
その探究には、

① 正確な情報を得ること

人から伝え聞いたことを鵜呑みにするのではなく、根拠のある情報をしっかりと掴んで下さい。
人からの情報を鵜呑みにして、拡散させないこと

② 想像力をたかめること

自分自身の他愛のない行動・言動が、友人や同僚、大衆への不安を与える場合がある
これぐらいって気持ちか、本当に大丈夫？ 公共の場で、誰もにも迷惑をかけていないか？
想像力が豊かな人は、周りの人達への心遣いもできる。場を和ませるだけでなく、多くの人々に勇気や
元気を与えることができます。

本日、本校を巣立ち、社会の荒波への航海を始める君たちには、繰り返しますが、正確な情報を得て、それらの情報から想像力を活かして、起こりうる効果・影響を見極めること、『昨日の自分よりも成長した今日の自分のため』に、自覚を持った行動をして下さい。

そして、時には、近況報告や困りごとの相談等、本校に立ち寄って下さい。部活動指導や、進路説明会の講師等社会で活躍されている皆さんの声は、後輩たちや本校教職員への大きな刺激となります。皆さんの活躍ぶりを、先輩の体験談として、後輩や本校教職員に披露し、引き続き、本校が発展するための潤滑油として紹介させて下さい。

さあ、旅立ちの時がきました。

卒業生の皆さん、まずは、4月から新たな環境でスタートするために、日々の奮闘・ご活躍されることを期待しています。頑張ってください。

最後になりましたが、これまで様々なご支援・ご協力をいただきました地域の皆様、同窓会の皆様、後援会の皆様、保護者の皆様を始め、ご関係の皆様にお礼を申し上げ、大阪府立北かわち臯が丘高等学校 第12回卒業式の式辞といたします

令和4年2月25日

大阪府立北かわち臯が丘高等学校

校長 重松 良之